

## 26 大乘仏教はどのように誕生したのか

〈2コマ〉

わたなべしょうご  
渡辺章悟

東洋大学文学部教授



大乘仏教の起源と成立の問題を、最新の学説に基づきながらわかりやすく解説します。特に大乘仏教の代表的経典である、般若経・維摩経・法華経・華嚴経の一部を、翻訳を通して実際に読みながら、①経典の成立、②大乘の特徴とその思想、③法滅と授記、③悟りの智慧の展開、④三度の転法輪、⑤菩薩思想などを順次に検証してゆきます。これらのテーマを分析しながら、大乘仏教の概要とその思想の全体像を理解できるように努めます。

以下は二回の講義の予定です。

### 第一講目「大乘仏教の起源と発展」

大乘仏教の姿をあきらかにするために、その特徴をブツダ観、世界観、教団論、救済方法などについて、歴史的、思想的、文化的側面からスケッチします。特に、大乘以前のブツダ観を知るために〈然灯仏授記〉の説話をテーマにとりあげ、この説話が大乘の仏・菩薩・授記・誓願などの教えに影響を与えたことを、映像などを使いながら説明します。

### 第二講目「法滅と授記の思想」

大乘経典に共通に説かれる〈法滅句〉を取り上げ、この思想が初期仏教の〈正しい教えの衰退（正法の滅）あるいは、像法の発生と正法の隠没という教えに起源があることを述べる。次いで部派仏教から大乘仏教に至るまで、この教えがどのように展開して大乘仏教の核心になっていったのかを考察します。

[日 時] 2018年3月16日(金) 13:30~15:00, 15:20~16:50

[テキスト] レジューメ配布

[参考書] 高崎直道監修『大乘仏教の誕生 (シリーズ大乘仏教2)』春秋社

[受講料] 2,400円